

別記様式第6号

足利市入札適正化委員会議事概要（平成22年度 第2回）

開催日及び場所	平成22年11月15日（月） 午後2時30分～4時30分 足利市役所 特別会議室	
委員	岩崎 勝 委員長 菊地 義治 委員 小林 康昭 委員（欠席） 原田 いづみ 委員	
審議対象期間	平成22年 4月1日～平成22年 9月30日	
抽出案件	4件	（備考） 総件数 152件 一般競争入札 78件 指名競争入札 67件 随意契約 7件
一般競争入札	3件	
指名競争入札	1件	
随意契約	0件	
<p>会議の概要</p> <p>（1）入札及び契約手続の運用状況等について （事務局より説明）</p> <p>◇発言の要旨</p> <p>●委員 平均落札率はどのように算出しているのか。</p> <p>○事務局 総落札価格÷総予定価格で算出している。</p> <p>●委員 平成21年度下半期の落札率と比べて、95%以上のものが増えている。年度当初は、逆に落札率が低くなると思われるが、高くなっているのはなぜか。</p> <p>○事務局 電子入札で行ったものは、88.30%と低い数値だが、今年度は全体で若干高めになっている。理由の1つとして、経済不況下において、市内本社限定の地域要件を設け、第2四半期過ぎまで対応してきたことも要因と思われる。</p> <p>●委員 電子入札制度を純粹に利用した場合は、談合しづらくなると思われるが、実際のところどうなのか。</p>		

○事務局

電子入札は1つの入札の方法である。今年から一般競争入札の対象の拡大、また試行として一部で予定価格の事後公表を行っている。結果として、事後公表にしたことにより、安くなったものもあれば、2回予定価格を超え、3回やり直したものもあるが、概ねうまくいっていると思う。

●委員

電気・管工事は入札価格にバラつきがなく揃っている感じがする、なぜか。地元の業者には近隣の業者に負けないような体質を構築してほしいと思っている。

○事務局

業者が少なくなり、限られた中で競争性も少なくなっている。

(2) 抽出事案の審議

事案抽出の当番委員である原田委員から抽出理由の説明があり、その後審議に入る。

① 足利市公共下水道小俣汚水幹線支線築造工事(第2工区)

(事務局より説明)

◇ 発言の要旨

●委員

総合評価の価格以外の評価項目で、技術者の施工経験・保有資格が0点の業者があるが、あくまでも点数の問題で必須要件ではないのか。

○事務局

総合評価によらない通常の一般競争入札の要件は、1級だけでなく2級の資格保有者を認めている。総合評価ではより精度を求めている。

●委員

予定価格と落札額の差が大きいのはなぜか。

○事務局

設計に基づき、業者がきちんと積算し、応札した結果である。

●委員

2者のみ金額が低く目立っているが、これは企業努力でこの金額がでたということか。

○事務局

低入札でもなく、1度の入札で決まった。

●委員

業者の使用する積算ソフトは市と同じものを使っているのか。

○事務局

市のシステムは県と同じものを使用しており、市販されていない。積算方法は

国交省で定めたものが市販されている。市からは設計の金額を抜いたものを参考資料として提出しているの、それに基づき、業者は市とは違うシステムを使用し、積算している。

●委員

入札金額で一番高いところと低いところで300万円以上の差がある。工事品質は大丈夫なのか。

○事務局

これは低入札となった案件ではないが、現実的に不具合を生じるような事案はでていない。金額は無理をしているかもしれないが、現場の品質は確保されている。

●委員

価格以外の評価結果の詳細は業者に公表されているか。

○事務局

ホームページですべて公表している。

●委員

自社以外に他社の結果も見られるのか。

○事務局

はい。開札前に公表して、異議申し立てを受け付けている。

●委員

入札に参加する業者がお互いに分かってしまうのか。

○事務局

入札書を入れた後の公表である。そうしないと、談合の温床となってしまう。

②市立青葉小学校校舎耐震補強工事

(事務局より説明)

◇発言の要旨

●委員

変更理由は何か。

○事務局

外壁改修数量調査の結果、外壁のひび割れ等の施工数に変更となった。当初は過去の実績に基づき、予測の数量を入れているため、現地調査の結果の実数で変更している。

●委員

減もあるのか。

○事務局

ある。

●委員

減額することは業者と協議して決めるのか。

○事務局

調査した数字で協議の結果、変更契約を行う。調査は監督員も現地で立ち会っているため、数字に間違いはない。

●委員

すべての業者がこの変更金額になるのか。

○事務局

落札業者は請負率が一番低いため、一番安くなる。

③市立山辺中学校校舎耐震補強に伴う実施設計業務委託

(事務局より説明)

◇発言の要旨

●委員

業務委託の入札は落札率が低いと思っていたが。

○事務局

低めに出ているものが多いが、耐震については、飽和状態となっており高めになっている。

●委員

耐震について専門の業者か。それともどこでも対応できるのか。

○事務局

指名業者であればできる。技術者がいなければ構造部分だけ下請けを使う、丸投げ認めない。

●委員

工期は通常どれくらいか。

○事務局

半年くらい。判定会で意見書をもらう等、実務実働よりも事務手続きに時間を要する。

●委員

学校の構造設計を全て調べてからやるのか。

○事務局

はい、既存の建物の強度試験をしたり、様々なデータを集めて、耐震基準にあった補強方法をする。

●委員

どのように積算するのか。

○事務局

国からのソフトで日本全国同じ委託料が積算できる。データがあれば、自動的に計算される。

●委員

山辺中で何棟目か。

○事務局

昨年から行い、12棟目。市内33校、39棟、1年に6棟強のペースで施工を予定している。

④配水管移設工事（国道293号）大月第3工区

（事務局より説明）

◇発言の要旨

●委員

150mから188mに変更になったのはなぜか。

○事務局

県の道路拡幅工事に合わせて工事のため、県の変更増に伴い、市も増となった。

●委員

近接工事に関わる入札条件は、業者の機会均等のためか。

○事務局

続けて同じ工区をやると大きい工事になってしまう。

●委員

工区はどのように決めるのか。

○事務局

特に決まりはないが、期間、工程、規模及び業者の能力等を考えて、決めている。

◇まとめ

（抽出事案の入札関係の業務が概ね適正に執行されていたか？）

●委員

（概ね適正であったと判断することで異議なし）

（改善点・問題点）

●委員

（特に認められないと判断することで異議なし）